



JAMCA ニュース

No.97

2018 年 4 月 1 日

発行
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大塚町 31

グイップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

編集事務局

自動車整備士を取り巻く環境について

学校法人小倉学園 理事長
全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事・顧問

小倉 基義

一級自動車整備士の制度が平成 14 年に始まってから 15 年が経過し、全国に一級自動車整備士は 14,000 人を超えるまでになりました。一級自動車整備士については広く知られるようになってきたところではありますが、就職先での二級自動車整備士と一級自動車整備士の待遇はあまり変わっていないのが現実です。何故変わらないかといえば、既存の整備工場や企業が現在の整備士の雇用体系で満足しており、これ以上の待遇を与えたくないと思っているからです。もし一級自動車整備士にしか出来ない仕事が多くなった場合、二級自動車整備士よりも多く賃金を支払うこととなり、今の経営環境を変化させなければいけなくなります。

ですが、本当にこのままでいいのでしょうか？

自動車は日々進化しており、ハイブリッドカーや電気自動車、燃料電池車などが登場し、誤発進抑制システムや、自動ブレーキ、全自動運転なども普及してきました。

これからさらに自動車は進化を続けていくと思います。そのような技術が使われた自動車に不具合が生じて故障した際に、既存の二級自動車整備士だけで修理を行う事ができるのでしょうか？5年後、10



年後を見通した時にそれ相応の技術や知識を持った人が一定数以上必要になってくるのは明白です。そのためのスキル教育を早くから一級自動車整備士養成のカリキュラムに取り入れていくべきだと私は考えております。そのためにも、早急に国土交通省をはじめ、メーカーなど自動車産業に関わる団体が将来の自動車整備士のあり方を考えなければなりません。

また、整備士の不足も問題となっております。若者が減っていく中で、人材の確保はあらゆる業界で課題となっており、各業界で人材の取り合いとなっていきます。優秀な人材を自動車整備業界に引き込むためには、昔からの 3K (きつい・汚い・危険) のイメージを払拭する必要があります。そのためにも待遇の改善は必須となります。

待遇を変えるためには整備士の

持つ付加価値を高めていく必要があると思います。一級自動車整備士の授業で先ほどの自動車に関する先端知識や技術を提供するのはもちろんですが、営業スキルを磨く内容も取り入れたいと考えております。整備士がお客様に対して自動車の説明をしたり、整備内容を話したりする機会が多くなっております。昔のように整備だけができる整備士はこの変化に対応する事ができませんし、営業ができる整備士になったとすれば会社から求められる整備士となることができると思います。さらに営業スキルだけでなく、組織管理や経営の知識を教える事で会社の根幹を担う事の出来る人材育成に繋がると考えております。

自動車整備業界を取り巻く環境が今激しく変化をしております。この変化に対応し、今後整備業界が発展していくために、一級自動車整備士という資格を明確なものにする事をはじめ、様々な点において皆様にも一考していただきたいと思っております。

CONTENTS

2 面	大きく変わる整備環境、工具も進化中 キーワードは機能と安全
3 面	クルマ大好き！、活躍!! 女子! 卒業生
4 面・5 面	自動車技術高度化に伴い 車検手法のあり方を見直しの方向へ
6 面・7 面	協会トピックス・アイドルタイム・地区通信
8 面	私の教材活用・お知らせ・編集後記